

たまりば

2011年秋
Communication
通信 

◆発行日 2011年9月 ◆発行 特定非営利活動法人フリースペースたまりば
〒213-0022 川崎市高津区千年435-10
TEL 044-833-7562
FAX 044-833-7534

<http://www.tamariba.org>
E-mail : freespace@tamariba.org

今年もやっぱり！八丈島キャンプ

今年も7月30日(土)～8月4日(木)にかけ、八丈島合宿に行ってきました。

3月の震災と原発事故をうけて、夏合宿をどう考えるか、メンバーでのミーティング、活動報告会、スタッフ間での話し合いを重ねた結果、やっぱり八丈島でキャンプをしようということになりました。

決定を出すのが例年より遅かったせい、バイトなどを始めている若者層の参加がいつもより少なく、平均年齢がぐっと下がった今年の八丈島。出発前は、いつもとこずる大量の共同装備品の積み込みや、大小18張のテント建てなどに若干不安があったのですが、フタを開けてみると、大きい子も小さい子も、参加した人45名がそれぞれ自分のできることをしっかりやって、むしろ例年よりスムーズに事が運んだ感じ(?)でした。



さて、今年の八丈島、出だしのお天気はあいにくの曇り空。おまけに日差しがないのに半端ない暑さ。でもみんなはちっともメゲず、テント村を建てて一息ついたら速攻で海へ！時々日が射すと水族館のような、透明で魚がたくさんいる八丈島の海に大コープンでした。

なんだかんだで順調なスタートかと思われた初日の夜中、びっくりするほど激しい雨が降ってきました。去年スコールを経験していたので、始めは余裕もあったのですが、一向に降りやむ気配はなく、朝方には浸水するテントが続出。寝袋や荷物をビニール袋に入れて保護し、キャンプ場にある避難用の東屋で朝ごはん。結局その日は一日中、地元の人でもあ



まり経験のないような大雨が続きました。そんな中、ゆっくり温泉に入ったり、「どうせ濡れるなら」と水着になって、キャンプ場で思い切り走りまわって遊んだり、やっぱりみんなはちっともメゲないのです。

しかし、日頃の行いのおかげ(?)か、後半は「これぞ八丈島！」というお天気に。海では飛び込みが大ブレイク！いろんな技やポーズを編み出して延々と飛び込み続けていました。陸では、バーベキューをお腹一杯味わったり、牧場の牛と牛語で会話を試みたり、大雨で湿気でハリーポッターの魔法ようになった花火に盛り上がり、真っ赤に日焼けした肌を落ち着かせるために、キャンプ場に生えているアロエの絞り汁を集めて手づくりローションを作ったり、テントの壁に懐中電灯で影絵の劇を上演したり、鉄板でふわふわのパンを焼いたり、地元のおじさん直伝の、ハイビスカスのおひたしを作ったり、夜中にヒマを持って余して、鍋をピッカピカにみがいたり…。バラエティー豊かなメンバーは楽しみ方も千差万別。今年の夏も目一杯八丈島を満喫してきました。ホントにたまりばの合宿って面白くてやめられません。来年も行っちゃおう？八丈島！（ハイホー）



NPO法人
フリースペース
たまりば
って…？

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

デイホームで音楽交流

7月7日(木)世田谷区のデイホーム深沢から、ロスえんくエントロスがお招きを受け、総勢20名で演奏しに行ってきました。到着すると、暑い中ようこそ、と温かく迎えてくださり、演奏が始まると、手拍子を打ったり、立ちあがって踊ったりする方もいて、みんなの演奏にも気合が入ります。この日はベテランのお兄さんたちが来られず、楽器紹介のときには、新しい世代が、各楽器一人ずつ緊張しながらもソロ演奏。すると、「こりゃ、大変そう!」「うまい!」と声をかけ、感心してくれました。この日のために練習した日本の歌、「茶摘み」「ふるさと」が始まると、皆さんの目が一段と輝き、一緒に口ずさんでくださり、終わった後も何度も何度も、素晴らしいと褒められました。



元気な声で歌っていました。元気を届けに行きたつもりでしたが、逆に元気をたくさんもらったようなすてきなひとときでした。(のぶこ)

びしょびしょ! どろどろ! キラキラ!

今年も7月18日(月・祝)に夢パ祭りが行われました。この日の入場者数は1390人!大勢の子どもたちが水遊びで涼んでくれたようです。今年のオープニングは中学生女子3人組によるヒップホップダンス!その後は、ひたすら水遊び。ウォータースライダーやちびっこプール、ミストシャワーなど、夢パのあちこちでびしょびしょになって遊ぶ笑顔の子どもたち。みんなとっても楽しそうでした。登竜門では一輪車でのダンスや毎度おなじみフォルクローレ。レインボー商店街にも、たくさんの人たちがかき氷や焼きそばに行列していました。フィナーレには、怪物が出現!タワーを占拠し、お祭りをぶち壊そうとします。そこでみんなは泥ダンゴで交戦!最後は子どもたちの勝利に終わり、そのままみんな勢いで泥



の海の中へ。一人また一人と泥に引きずり込まれていき、頭のとっぺんからつま先までチョコレート色の泥コーティング。泥でパックされたみんなの顔、目だけがキラキラと光っていました。(かん)

福島の子もたちとともに

福島の子もたちに楽しい夏を過ごしてもらいたいと、市内のNPO法人などが集まって「福島の子もたちとともに・川崎市民の会」というネットワークを発足し、福島第一原発の周辺市町村に住む子どもたちを川崎に招くサマースクールを開催しました。



たまりばもこのネットワークに参加し、サマースクール期間中の8月6日(土)と10日(水)に、参加した子どもたちが夢パークに遊びに来ました。

6日のお昼は川崎市ふれあい館の「トラジの会」の皆さんが作ってくれた本場のチヂミ、ピビンパ、ナムルをおなかいっぱい食べました。10日のお昼はそうめんを10kgゆでて、総勢100人で流しそうめんをしました。

参加者の子どもたちはプレーパークでド口遊びをしたり、ウォータースライダーで水遊びをしたり、思い切り外遊びができたと話してくれました。お土産に野染めの斎藤洋さんが呼びかけて用意してくれたお針箱を渡し、これからも繋がっていきたいという思いを伝えました。(たかこ)

みんな大活躍! 炎天下でのお祭り

9月10日(土) 桜木町にある青少年サポートプラザで開催された第7回「フリ・フリ・フリマ」に参加しました。このイベントは、神奈川県内で子ども・若者たちやその家族の支援を行なっている団体が集まって毎年開催しています。当日は、子ども・若者たち・保護者・スタッフ合わせて30人ほどが参加し、焼き鳥・焼きそば・工房製品の販売等を行いました。焼き鳥・焼きそばを焼いたメンバーは、炎天下の中で汗だくになりながら最後まで作業を続けました。そんな頼もしい子ども・若者たちの姿にお客さんたちも感動し、たくさん購入してくれました。当日、暑さをしのぐために活躍した手づくり団扇は、アートの講座の時に子どもたちが紙張りをして作りました。世界で一つしかない手づくり団扇を仰ぎながら過ごした夏の思い出深いイベントです。(ゆうき)



指定管理施設

『やってみよう』がいっぱいある場所です
川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



「えん」で行なわれている講座を紹介します

モフランとジャンベ 連続講座

「ハロー！」元気な挨拶とともに現れ、ひとりひとりと握手しながら入ってきたのは、みんなの大好きなモフラン。月一度のアフリカの太鼓「ジャンベ」講座は、久地時代から10年以上続いています。

アフリカの伝統的なリズムは、タイミングをつかむのがとても難しく、みんなで勝手に歌詞(?)を付けておぼえます。(「ヤーキニク・ヤーキニク・ヤーキニク・タバタイナ」という感じ)初めての人もいつのまにかノリノリ レッスンはいつも笑い声が絶えません。



日本にきて20年以上になるモフランは、ダジャレもはさみつつ、アフリカと日本の文化や歴史の話もたくさん聞かせてくれます。自分たちの知らない世界を身近に感じ、知っていたはずの世界に新たに出会う、豊かで楽しい時間です。(ハイホー)

B.B.モフラン

コンゴ民主共和国出身。パーカッション・キーボード奏者。ボーカル、作詞作曲、アレンジも手がける。1983年初来日、渡辺貞夫と共演し絶賛を浴びる。劇団四季のミュージカル「ライオンキング」初代パーカッショニスト。CM・TV出演多数。



今日もサイクリングロードを自転車でピュンピュンと走っています。秋の空に、風が爽やかで気持ちがいいね。ブルーベリーの木の前は休憩スポット 甘くてすっぱいよ、ザクロもだんだんってきたね。後ろからチャリンチャリンとベルの音風を切って追いかけてくる！一人またひとりと加わって、よーいどん！と自転車レース 早くこぐために姿勢は低く、カーブは腰を低く！こんな毎日 (マチコ)

今年もナスをたくさんいただき、他の野菜も一緒に天ぷらにしました。最近はお昼ご飯を食べる人が多いので、揚げた先からみんなの口の中に消えていく感じ。子どもたちが大騒ぎしながらひとしきり食べた後は、ゴーヤやミョウガなどの大人好みの野菜が残り、第二部大人ランチタイムの始まりです。食後も揚げて、おやつも天ぷら。まるで惣菜屋さんようです。(みよし)

昨年に引き続き、今年も行なっている映像ワークショップ。八丈島の海での飛び込みやインタビューをまとめたり、夢パークえんでの日常の様子を撮影したものまとめたり。集中力が必要なパソコンでの作業。パソコンに向かっているのかと思えば、いつの間にかトランプやおしゃべりに、でも、けっこう作業は進んでいる様子。今年は何んな作品ができるのかなあ。(ダイスケ)



3月11日の大震災後、「えんで私に何ができるかプロジェクト」がたちあがり、毎月11日午後2時46分に皆で「ふるさと」を歌い続けている。

8月6日と10日には、福島・白河・伊達で暮らす子どもたちを夢パークに招いた。保護者も合わせると総勢67名。原発事故によって、外遊びができず、プールにも入れない子どもたちが、夢パークのウォーターライダーに歓声を上げ、泥んこになって思いっきり遊んだ。

でも被災地からの映像が洪水のように流されてくる生活の中で、日に日に感覚がマヒしつつあるように感じていた。信じ難いような津波の映像は、まるでフィクションの特撮映画であるかのように、リアリティを感じられなくなってきていた。

「自分の目で現地を見て、話を聞きたい」。思い立ったスタッフ4人で、8月の中旬、大船渡から陸前高田、気仙沼、石巻、仙台などを訪ねた。車でどこを走っても、ガレキや壊れてさびた車の山ばかり。家はすっかり流され、人々の暮らしがあったであろう元の姿を想像することすらできない。ただただ言葉を失い途方にくれた。私たちにできることなんて、あるのだろうか。

秋風が吹き始めたある日、「被災と居場所」をテーマにしたシンポジウムが開かれた。そこで報告された被災地の子どもたちの声を聞いたとき、ふと私の心に光が差し込んだ。「自分たちをかわいそうな子にしないでくれ」。ケアの対象ではなく、「自分たちを頼ってほしい」。津波で家族を失った子どもが、市長と一緒に街づくりのワークショップに出て、夢を語っている映像を見た。復興と新たな街づくりを自分たちの手で担おうとする子どもたちの姿を見て、胸が熱くなった。

途方にくれている場合ではない。被災後の気づきとして、それまでの日常の人と人との繋がりが何よりも大切だったという話も聞いた。私たちがまずもってできることは、子どもとおとなが会い、多様な人間関係を紡ぎあう居場所を、子どもたちの声を聞きながらつくり続けていくことなのだ、改めて気づかせてもらった。(西野博之)



オーガニックカフェ

TEL/FAX 044-813-5248

南武線久地駅下車徒歩2分
川崎市多摩区宿河原6-26-24 フジビル1F



インフォメーション

詳しくは事務局まで

落花生掘りとこんにゃく作り

～県とJA セレサ川崎とたまりばとの連携促進モデル事業～

9月27日(火) 集合9:20 夢パーク

農園で落花生掘った後、黒川青少年活動センターに移動して、自分たちでこんにゃくを作って食べよう!

10月4日(火)は、代休で「えん」はお休みです。

夢パークこどもゆめ横丁～かわさき子どもの権利の日事業～

11月6日(日)10:30～15:00 (夢パークは18:30閉所)

いつもの夢パークに子どもたち自身が考えつかった“街”が出現します。また今年にはビニールのタワーも登場するよ

11月7日(月)は臨時施設点検日のため、お休みです。

染めのおっちゃんとお染め

11月17日(木) 11:00～15:00 「えん」

京都の染色家、斎藤洋さんと一緒に18メートルの長い布をみんなで思い思いの色に染めよう! 午後は斎藤さんと語り合おう。

夢パーククリスマスイベント

12月23日(木・祝) (夢パークは18:00閉所)

今年はどうなイベントになるかな? お楽しみに

イベント出店・出演

雑居まつり

10月9日(日) 世田谷・羽根木公園(模擬店)

白梅学園大学 白梅祭

10月23日(日) 小平・白梅学園大学(フォークレ演奏)

第22回かながわ国際人権集会・県民集会

12月1日(木) 相模大野・グリーンホール(フォークレ演奏)

権利の日つどいイベント

12月4日(日) 中原区・エポックなかはら(フォークレ演奏)

フリースペースって、どんなところ?

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第5回 11月19日(土) 10:00～12:00

第6回 1月21日(土) 10:00～12:00

第7回 2月18日(土) 10:00～12:00

(原則として、各回とも同じ内容です)

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方

会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」

資料代 500円 <要予約・先着20人まで>

子ども・青年にかかわる人に必要な精神医学の基礎

「発達障がいの治療とその周辺領域について」(申込終了)

講師: 石川憲彦さん

(児童精神科・小児科医、林試の森クリニック院長)

第2回 10月12日(水) ADHDと二次障害

第3回 11月16日(水) 統合失調症という誤診と薬剤療法

第1回の日程 台風のため延期

9月21日(水) 12月21日(水) 18:30～20:30

自閉性障害とアスペルガー症候群

会場: 川崎市生活文化会館てくのかわさき てくのホール

時間: 18:30～20:30

ご支援いただきありがとうございます (2011.6.16～2011.9.14)

NPO法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。(敬称略・順不同。希望されない方は掲載していません。なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。)

渥美和紀、石橋充行・大吉、石山桂子、長敬弘、門田啓子、木島美代子・龍次、菊地圭太・真由美、児島順子・満仲人、澤畑勉、塩倉直子、竹内太郎、田辺待子、田老伸匡、木村陶子、山田恵理子、中村公一、中川裕子、長谷川和子・新之介、三浦知人、毛井海渡・大智、飯沼光津子、柳生幸子、細谷加代子、山下晴子、金子大也・麻子、倉方真紀子、平岡ユキ子、上田春美、島村祐史・明慧、熊谷裕子、細見慶子、松浦幸子、関伊都子、桑原俊三・優子、松崎良子、矢崎美穂子、上野航平、馬場千鶴、坪滝治郎、NPO法人ぐらすかわさき、大野浩子、重松奈緒、長谷川靖子、岡本正子、竹内昭、三好洋子、桑野節子、桜井純恵、小瀧拓一郎、後藤史子、路地裏三美の会、諏訪部加代子、本間由美子・賢治、竹村穂子、山田利雄、常川恵子、木下宇一郎、愛甲幸子、岡本恵子、小島里映・文子、小森新一郎、松浦幸子、本田常隆、青木和雄、吉富多美、平島春美、友兼清治・悦子、わたぼうし、大谷恭子、矢野令子、石神一代、田鎖美恵子

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

月払い会員、年払い会員、個人会員、団体会員など各コースあります

振込先 郵便振替口座 002002-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

* 郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は (支店名を「セ」で検索してください)

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562 (光富、山下)